

二級河川 富田川水系 河川整備計画（原案）について

平成30年2月20日

和歌山県

目次

1. 第10回和歌山県河川整備審議会河川整備計画部会（H29.12.1）
でのご意見とその対応について 2
2. パブリックコメントでのご意見とその対応について 4

1. 第10回河川整備計画部会(H29.12.1)でのご意見とその対応①

項目	ご意見	ご意見に対する県の考え方
第1章 富田川水系の流域及び河川の概要		
1.1 流域の概要		
1.1.4 歴史・文化・観光		
1	「稲葉根王子、一瀬王子、鮎川王子は県指定の史跡に指定されている」記載について、稲葉根王子は国指定の史跡となっている。	<p>ご意見を踏まえて、本文を下記のとおり追記します。</p> <p>【本文P4 1.1.4 歴史・文化・観光】 【参考資料P7 1.1.4 歴史・文化・観光】 『富田川は身を清める水垢離場として利用され、稲葉根王子は国指定の史跡、一瀬王子、鮎川王子は県指定の史跡として指定されている。』</p>
2	彦五郎の碑というのは、彦五郎というものが江戸時代に人柱となって、堤防が壊れないよう命を捧げた河川に関係深いものなので丁寧な説明を記載していただきたい。	<p>ご意見を踏まえて、本文を下記のとおり追記します。</p> <p>【本文P4 1.1.4 歴史・文化・観光】 【参考資料P7 1.1.4 歴史・文化・観光】 『河川沿いには、度重なる堤防決壊に対して彦五郎が人柱となった彦五郎堤防の由来を銘記した「彦五郎の碑」や「清姫の墓」など河川に関係の深いものがある。』</p>

— 修正箇所 — — 記載済箇所 —

1. 第10回河川整備計画部会(H29.12.1)でのご意見とその対応②

項目	ご意見	ご意見に対する県の考え方
第2章 富田川水系の現状と課題		
2.2 河川利用の現状と課題		
2.2.1 利水の現状と課題		
1	富田川の生馬川周辺では、河床の礫層が堤内地まで及んでいるため、毎年のように瀬切れが起こっている。利水面では少々瀬切れしたとしても取水上は何ら支障はないが、流況調整施設を作らない条件のもと、瀬切れの問題を記載していただきたい。	ご意見を踏まえて、本文を下記のとおり追記します。 【本文P8 2.2.1 利水の現状と課題】 【参考資料P21 2.2.1 利水の現状と課題】 『富田川では、近年、しろかき期の河川流量は比較的確保されており、過去に大きな渇水被害は生じていない。しかしながら、雨の少ない秋から冬にかけて、生馬橋から上流の区間では河川水が伏流して地表水が一時的に涸れることがある。』

第3章 富田川水系河川整備計画の目標に関する事項		
3.3 河川整備計画の目標に関する事項		
3.3.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標		
1	富田川において、瀬切れの問題はあるということに記載していただきたい。	ご意見を踏まえて、本文を下記のとおり修正します。 【本文P12 3.3.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標】 【参考資料P40 3.3.2 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標】 『河川水の利用に関しては、河川水が伏流して地表水が一時的に涸れることがあるものの渇水による被害報告はないため、引き続き河川流況の把握に努める。』

— 修正箇所 — — 記載済箇所 —

2. パブリックコメントでのご意見とその対応について①

実施期間	平成29年12月26日(火)～平成30年1月24日(水) 30日間
閲覧場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県庁河川課 ・ 県庁情報公開コーナー ・ 西牟婁振興局建設部総務調整課 ・ 白浜町役場建設課 富田事務所 ・ 田辺市役所土木課 大塔行政局産業建設課 中辺路行政局産業建設課 ・ 上富田町産業建設課 ・ 県庁河川課ホームページ
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌山県ホームページ 和歌山県情報館県民意見募集ページ 河川課ホームページ 等
回答数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1件(2項目)

2. パブリックコメントでのご意見とその対応について②

No.	ご意見	ご意見に対する県の考え方
1	<p>整備計画の第4章に記載されている「河川整備の実施に際しては、瀬・淵の保全や水際の植生の創出など、生態系にとって良好な自然環境に配慮し・・・」とあるが、具体的な方法やモデルとする河川があるのか。</p>	<p>当整備計画における具体的な整備手法として、河道掘削については、魚類等の生息する水面下は極力施工せず、水面より上の土砂を掘削することや、護岸については、透水性と空隙、植生をもった構造とすることなどを想定しており、これにより自然環境に配慮することとしています。</p>
2	<p>郵便橋から富田川河口までの河床の立木竹は除去するのか、回答頂きたい。</p>	<p>郵便橋の上流から富田川の河口までの区間については、立木竹の除去と合わせた河道掘削を行う予定としています。</p>